

第100回 理事会（平成17年度第10回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成18年4月4日（火）19:00～21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、岡本 洋一、
川田 光代、清水 忠、木村 徳善、百海 廷、栗田 謙悟、
平沢 幸一、斎藤 幸雄、
欠席理事：（会長）河野 洋平
（理事）佐々木生道、菊地 勇二、吉岡 去私
4. 出席監事： 生駒 利一
欠席監事： 木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

①渡辺教育本部長より、下記行事（別紙配付資料参照）についての報告がなされ、了承された。

イ) 第5回環富士スキー技術選手権大会開催（主管：千葉県）

期日：3月11日～12日 会場：白馬五竜スキー場

参加者：288名（神奈川175名、静岡46名、山梨20名、千葉47名）

- ・ 片専務理事より、持ち回り開催なので会計処理についてのやり方が不明になるので来季への引継ぎとして、運営細則を作成することの指示があり、了承した。

ロ) 全日本スキー技術選手権大会／ジャッジ研修会開催

期日：3月15日～20日 会場：苗場スキー場

準決勝進出者：男子 中村浩章、武田真樹、小林伊芙樹、翠川和也の4名

ジャッジ研修会参加者：4名

ハ) 車山行事Ⅶ 開催

期日：3月25日～26日 会場：車山高原スキー場

参加者：研修会35名、クリニック118名、B級検定会23名、C級検定会18名、レベルアップ一般7名、有資格者33名、SB指導員研修会4名、SBレベルアップ講習会C6名、雪とのふれあい75名

BC級検定員合格者：B級23名、C級18名、

級別テスト合格者：1級2名、2級1名、

SB級別テスト合格者：1級5名、2級1名、3級1名

ジュニアテスト合格者：3級3名、4級7名、5級11名、6級7名

二) 第21回スキーパトロール技術競技大会開催

期日：3月25日～26日 会場：宝台樹スキー場

結果：総合成績 2位：神奈川B、11位：神奈川女子B、15位：神奈川A

女子総合 3位：神奈川女子B

- ホ) 第3回全日本スノーボード技術選手権大会開催
期日：3月23日～26日 会場：北海道ルスツリゾート
参加者：男子アルペン4名、男子FS1名、女子FS4名、合計9名
- ハ) 正指導員受検合格者
期日：2月24日～26日 会場：5会場
受験者：計72名、 合格者：46名（別紙参照）

(2) 審議事項
特になし

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

①菊地本部長より、下記行事（別紙配付資料参照）に関する報告があり、了承された。

・派遣事業

イ) SAJ-B関東スキー選手権

期日：3月26日～28日 会場：尾瀬岩鞍スキー場

参加選手：男子19名 女子5名

派遣コーチ：中田圭専門委員

・育成事業

イ) ジュニアアルペン総合合宿J1

期日：3月22日～24日 会場：レーシングキャンプ野辺山

参加選手：アルペン7名 ボード1名

ロ) 競技力向上ジュニア育成

期日：3月22日～24日 会場：レーシングキャンプ野辺山

参加選手：アルペン10名

・大会の開催

イ) 第4回チャレンジカップ野辺山大会及び第3回トーエルカップ

期日：3月31日～4月2日 会場：レーシングキャンプ野辺山

参加選手：ハンディキャップ5名 オープン35名 競技選手520名

②県体育協会強化モデル事業補助について

菊地本部長より、県体育協会より200万円の補助決定通知書が送付された。今後ジュニアのセレクションを行い、5月にプロジェクト会議を立ち上げ、メディカルチェック等に取り組みたいとの報告があり、了承された。片専務理事から、モデル事業の補助金と連盟支出金の会計年度がずれるので連盟支出金の金額をきちんと定め別会計、別口座にしないと経理事務が錯綜してしまうので注意が必要であるとの要望があり、了解した。

③教育本部との交流について

菊地本部長より、3月30日のセッター検定会に3名の正指導員が参加してくれた。今後も教育本部との技術交流を図っていききたいとの報告があり、了承された。

④来年度の県総合体育大会について

栗田理事より、県教育委員会からの以下の連絡事項について報告があり、了承された。

- ・予算53万円（昨年度58.5万円）
- ・平成18年度夏・秋季大会より競技団体への委託事業から実行委員会形式を採用予定
- ・参加料徴収やスポンサー料獲得など新たな財源確保を実施する。

(2) 審議事項

①アルペンジュニア総合合宿日程変更について

菊地本部長より、同合宿日程について、できる限り学校を休ませないために以下のとおり変更

したい旨の提案がなされ、承認された。

変更前 4月27日～5月3日

変更後 4月28日～5月4日

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

①慶弔関係 特になし

②資金運用状況について

岡本理事より、資金運用状況について、2月末までは順調であったが、3月末の預金残高が580万9,557円で16年度同時期の1,006万2,982円と比べ420万円余の減となっており、各理事等からその原因究明を行う必要があり、次年度予算編成が不可能であるなどの発言が相次ぎ、早急に原因を調査して報告することとなった。

次に新公益法人会計対応については、業者見積もりが25万円であり、システム対応は来年度から行なう旨の報告があり、了承された。

また各種行事報告の締切りは4月9日(日)とし、その翌日から会計振替作業及び伝票チェックを行なうので、各事業担当者は報告書の提出を願いたいとの報告があり、了承された。

次回ブリ監査は5月6日(土)10:00から開催予定との報告あり、了承された。

③登録状況について

長久保理事より、3月29日現在の登録手続き状況は、一般5,623名、総数6,137名と昨年度を若干下回る。SAJから未登録者リスト一覧表(約100名)が送付されたので、明日各市協に発送予定であるとの報告があり、了承された。

④HC委員会(別添報告資料参照)

越前谷事務局長より、「第8回障害を持つ方のためのスキー教室」が車山V行事と併設で開催され無事終了した。今回、知的障害者の参加が増えており、家族からは非常に好評で再度参加したいとの声があるとの報告があり、了承された。

⑤広報委員会

徳本理事より、現在「SAKだより51号」を編集作業中で、5月当初に発行予定である旨の報告があり、了承された。

⑥協賛拡大委員会

長久保理事より、今年度の協賛入金状況について316万円の入金があり、現協賛総額の96%に当たるとの報告があり、了承された。野地副会長から、ダイードロリンコやJTなど現地で物品協賛があった分についても報告してはどうかとの要望があり、次回に報告することとした。

(2) 審議事項

①平成18年度執行方針について(別紙配付資料参照)

片専務理事より、執行方針素案について、事業運営方針6項目、組織運営方針3項目の説明があり、各本部方針へ落とし込み整合性を付けた後、最終案としたいとの提案がなされ、承認された。

上田本部長より、事業の再編については中止行事の見直しと考えてよいのかとの質問があり、片専務理事から、基本的にはそういうことで、また、行事をいくつか合体させて開催することも検討する。2月に研修会が無いので車山に入れる。また、加盟団体が行事をやりづらいので車山とガーラ湯沢を同日程とする。国体予選と技術選手権の日程重複は避けるなどの検討事項が提示された。

野地副会長より、会員数が一つのバロメーターとなっているので、会員重視の項目を方針の中に設けて見えるようにしてはどうか、また、市協会・クラブとの連携も文章化して入れると共感を呼ぶのではとの発言があり、前者については、事業運営の冒頭に「会員のための」という一文を挿入することとし、後者については今後検討することとした。

②平成18年度事業計画案・予算案スケジュール(別添参照)について

徳本理事より、配布資料に沿って作成日程の説明提案がなされ、承認された。

平沢理事から各部執行方針案の調整日程について質問があり、片専務理事から各本部間で事前調整を行ってほしいとの回答があり、了承された。

越前谷事務局長より、各計画・報告は寄付行為に沿った形の計画・報告でないと教育委員会に対する報告書としては問題があるので注意されたい。特に、予算・決算はSAK年度で作成してほしいとの要望があり、了承された。

片専務理事より、早期に各事業の決算を提出してもらわないと予算が立てられないのでよろしくお願ひしたいとの要望があり、各本部とも了解した。

③暫定予算導入の検討について

片専務理事より、今期の決算が見えないのに来期予算を承認しなくてはならないことについて、暫定予算を組み6月から執行し、再度7月に決算・予算を審議する場合は、作業が重複するので、今年度は旧会計ソフトで行ない、来年以降は新公益法人会計に移行して対応する。決算が見えないところはもう一度審議することでアイデアを出して進めたい旨の提案がなされ、承認された。上田本部長から新公益法人会計に替わるが運用は変わらず、税理士に頼むことも含め検討していくことの発言があり、了承された。

④SAK規約規定の改訂について

徳本理事より、前回の理事会で規約・規定集の見直しを提案し、その修正箇所を別紙の一覧表に整理し、事務所に置きました訂正版の内容確認していただき、承認することの提案がなされ、承認された。片専務理事から訂正版を正規の規程集として、関係者に配布することの指示があった。

⑤ブロック交付金について

片専務理事より、各ブロック交付金としてブロック当たり5万円を交付したいとの提案があり、承認された。

4) その他

①雪上行事写真の有料交付について

片専務理事より、阿部総務委員が写真を行事参加者へ個別に送っているが、用紙代と切手代の実費だけだとは思うが、何らかのルールのもとに行なった方がいいのではないかと。井駒監事からも指摘があったとの発言があり、別途検討して、仕組みを作って交付することとした。

②井駒監事よりのコメント

5月8日にプレ監査があるので、そこで細かく見ていきたい。残金の減少問題については、予算を大幅にオーバーした事業はないので、減少するはずはない。なにか数字の落とし穴があるのだと考える。健全財政の運営を今後も継続されたい。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成18年 4月 20日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印